

(別紙5)

整理番号 2019P-127
補助事業名 2019年度 障がいを持つ人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

精神障害に関して、科学的根拠に基づく正しい知識の普及啓発を行い、もって社会福祉の増進に寄与する

(2) 実施内容

https://www.comhbo.net/?page_id=104 (URL)

1) 精神障害啓発冊子の作成・普及

対象：精神障害とその家族、支援者、保健福祉関係者、医療機関及び一般の方

内容：精神疾患に関して科学的根拠のある正しい情報、当事者や家族の体験談、精神保健福祉制度や社会資源等の最新情報を掲載した。また、今年度は「睡眠」「備え」「病院」「双極性障害」「薬とのつきあい方」「家族とのつきあい方」「認識」「生活」「夢・希望」「季節の変化」「ピアスタッフ」「薬」など、多岐にわたるテーマを特集した。

様式：B5版64頁

発行部数：毎号10,000部(10,000部/月×12回/年)

2) 評価調査(ニーズ・モニタリング評価調査)の実施

紙媒体の啓発冊子を、精神障がいのある情報の弱者およびその家族等、医療機関や地域事業所などの支援機関に頒布するとともに、啓発冊子へのニーズと活用方法・活用可能性に関するアンケート調査を冊子の広報活動も兼ねて行った。同時に冊子を活用している支援機関を対象にしたモニタリング調査を実施して、リカバリー志向サービス等の進捗状況を把握した。

2 予想される事業実施効果

現在、精神疾患の患者数は392.4万人といわれている。サポート体制の不備や偏見、周囲の無理解等によって精神疾患の患者は孤立しがちであり、医療や福祉につながっていない人も数多い。精神科医療は現在でも長期入院や薬剤の多剤大量処方など、科学的根拠のない治療が主流であり、患者や家族に対して知識や情報提供が少ないのが現状である。精神障害者はインターネットの利用率が低く、また、加齢や障害の程度などにより、新しい情報技術を容易に使いこなせず、さらに困難な状況に追い込まれる方が多い。

この啓発冊子の考え方の柱は「リカバリー」である。リカバリーの基本は希望をもつことや自己決定などであり、ある当事者の体験が、他の当事者に大きな影響を与えることが

(別紙5)

できる。世界的に、精神疾患をもつ人たちの進むべき方向、支援者の関わり方はリカバリー志向であることが求められているが、これまでの支援者が当事者を管理する志向とは真逆の考え方であり、この事業を継続し、啓発冊子を読み続けることで、これまでの文化や思考を変え、社会を変えていくことができると思われる。

一方で、2020年度より、これまでの冊子に加えて、ウェブマガジンの導入等による電子媒体啓発誌による情報提供を始める。電子媒体啓発誌は、検索機能を強化し、過去の関連記事の参照機能を充実させるとともに、スマートフォン等にも対応するなど、多様な手段に対応し、それぞれの視認性を高めることで、広く情報提供できるようになる。

また、啓発冊子を医療機関や地域事業所など支援機関を対象に、啓発冊子に対するニーズと活用方法・活用可能性に関するアンケート調査を行ったが、この結果を元にグループ活用ガイドブックを作成・配布するとともに、グループ活用ファシリテータの養成研修や広報セミナーを開催し、リカバリー志向サービスの拡大と支援文化を広めるためのネットワークの構築を目指していく予定である。

新たな取り組みを進めていくことで、今後さらに正しい知識の普及啓発と精神障害者への認識不足や誤解を払拭することができ、精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会のしくみづくりという社会的課題の達成に近づくことが見込まれる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

精神障害啓発冊子「こころの元気+」

毎月10,000部発行(10,000部/月×12回/年)

https://www.comhbo.net/?page_id=104 (URL)

- | | | |
|-------|------|---------------------|
| 2019年 | 5月号 | 特集「睡眠あるある！」 |
| | 6月号 | 特集「私のSOSに備える」 |
| | 7月号 | 特集「病院でもリカバリー」 |
| | 8月号 | 特集「当事者から伝える双極性障害」 |
| | 9月号 | 特集「薬とのつきあい方が変わってきた」 |
| | 10月号 | 特集「私と家族の距離」 |
| | 11月号 | 特集「『ジョーシキ』って何？」 |
| | 12月号 | 特集「生活の困窮なんとかしたい！」 |
| 2020年 | 1月号 | 特集「未来を語ると何かが変わる」 |
| | 2月号 | 特集「季節や気候の変化がづらいです」 |
| | 3月号 | 特集「ピアスタッフになれますか？」 |
| | 4月号 | 特集「私にとっての人薬と時薬」 |

(別紙5)



啓発誌「ココロの元気+」5月号



啓発誌「ココロの元気+」6月号



啓発誌「ココロの元気+」7月号



啓発誌「ココロの元気+」8月号



啓発誌「ココロの元気+」9月号



啓発誌「ココロの元気+」10月号

(別紙5)



啓発誌「ココロの元気+」11月号



啓発誌「ココロの元気+」12月号



啓発誌「ココロの元気+」1月号



啓発誌「ココロの元気+」2月号



啓発誌「ココロの元気+」3月号



啓発誌「ココロの元気+」4月号

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

- ・精神科医療機関におけるリハビリ志向活動の現状と課題、展望に関するアンケート調査票
- ・障害者地域事業所におけるリハビリ志向活動の現状と課題、展望に関するアンケート調査票

→ https://www.comhbo.net/?post_type=infomations&p=6743/ (URL)

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構
(トクヒ)チイキセイシンホケンフクシキコウ)

住 所 : 〒272-0031
千葉県市川市平田3-5-1 トノックスビル2F

代 表 者 : 代表理事 大嶋 巖 (オオシマイワオ)

担 当 部 署 : 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名 : 寺本 育男 (テラモト イクオ)

電 話 番 号 : 047-320-3870

F A X : 047-320-3871

E - m a i l : pr@comhbo.net

U R L : <https://www.comhbo.net>